

生野区の取組みについて

令和5年度生野区運営方針中間振り返り

令和6年度生野区運営方針（素案）

令和5年度 生野区区政会議
第2回まちの未来部会

令和5年12月20日（水）



はじめに – 生野区運営方針について –

生野区運営方針とは

区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として
毎年度策定するものであり、生野区将来ビジョンに向けた
毎年度のアクションプラン（毎年度の施策・事業の取組を
明らかにするもの）となる

生野区将来ビジョン2023－2026

令和5年度
生野区
運営方針

令和6年度
生野区
運営方針

令和7年度
生野区
運営方針

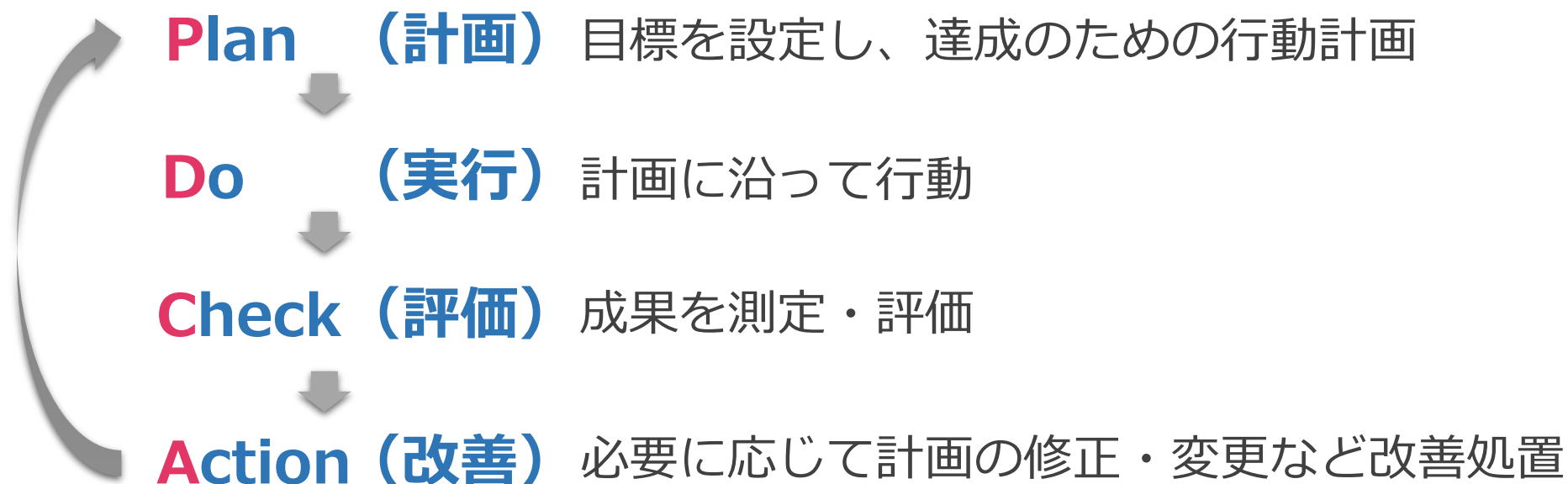
令和8年度
生野区
運営方針

めざす将来像

**誰もが
「居場所」と
「持ち場」の
あるまち**

はじめに – 生野区運営方針について –

毎年度PDCAサイクルによる策定と評価



はじめに – 生野区運営方針について –

策定・評価スケジュール

● 前年度運営方針 ● 当年度運営方針 ● 次年度運営方針



第1回区政会議

- ・ 令和4年度生野区運営方針振り返り

第2回区政会議

- ・ 令和5年度生野区運営方針中間振り返り
- ・ 令和6年度生野区運営方針（素案）

まちの未来部会

生野区運営方針 抜粋分

まちの未来部会の主なテーマ

にぎわいといろどり豊かな魅力のあるまち

- リノベーションまちづくり
- 生野区シティプロモーション
～来たい、住みたい、住み続けたいまちへ～

まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

現状・課題

- 2025年大阪・関西万博の機運醸成を高めるとともに、人・富・新技術を素通りさせずに、万博後も見据えて生野区のまち全体に取り込んでいく必要がある
- ものづくり市場の急速なグローバル化に対応するため企業や地域と連携した産業振興が必要
- 学校跡地活用、空き家等の利活用、安定的な移動手段の確保が必要

まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

具体的取組① 万博を契機にしたまちの 活性化

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
9,000千円	23,000千円

- 「EXPOいくのヒートアッププロジェクト」
プロモーション事業 * 令和5年度から実施
- 国際文化交流事業 * 令和6年度から実施
- シェアサイクルの利用・普及促進
* 令和5年度から実施
- シニア向けスマホ教室

まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

具体的取組② ものづくり生野のポテンシャル

令和5年度
予算額

7,058千円

令和6年度
算定見込額

7,058千円

■ 生野区ものづくりタウン事業 * 令和5年度から実施

- 次世代育成、町工場のネットワーク醸成を目的としたイベントの開催

- 「生野ものづくり百景」のPR



まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

具体的取組③ 学校跡地を核とした まちの活性化

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
161,110千円	89,120千円

- 御幸森小学校跡地活用事業（いくのコーライブズパーク）
- 生野小学校跡地活用事業（ワン・ワールド・インターナショナルスクール大阪）
- 林寺小学校跡地活用事業（アブロードインターナショナルスクール大阪校）
- 生野南小学校跡地活用事業（大阪自動車整備専門学校）

まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

具体的取組④

「空き家」「空きスペース」 を活用したにぎわい創出

令和5年度
予算額

2,578千円

令和6年度
算定見込額

3,585千円

- 地域が主体となった空き家の利活用を推進する団体と連携したセミナー等の開催
- 事業連携協定を締結した企業のプラットフォームを活用した空き家と空きスペースの利活用の促進
- 新たな公民連携による空き家や空きスペースの利活用推進
- 現地確認・所有者調査や助言・指導等の実施

＊令和5年度より実施

〈空き家活用株式会社〉



まちの魅力・地域活性化等

リノベーションまちづくり

具体的取組⑤ 持続可能な地域公共交通 の推進

令和5年度
予算額

2,578千円

令和6年度
算定見込額

3,585千円

■ 地域公共交通検討会



■ シェアサイクル



まちの魅力・地域活性化等

生野区シティプロモーション

～来たい、住みたい、住み続けたいまちへ

現状・課題

- いまだ発掘・浸透されていないまちの魅力が存在する
- 住民が感じている生野区の魅力、子育て層が移り住みたいと思う情報、若者が遊びに来たくなるような情報の発信が十分でない

まちの魅力・地域活性化等

生野区シティプロモーション

～来たい、住みたい、住み続けたいまちへ

具体的取組① わがまち意識の浸透

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
26,029千円	28,181千円

- 生野区持続可能なまちづくり支援事業
- 生野区を盛り上げる取組みを行っている区民や団体等の活動紹介・応援（PR協力）
- いくみんラインスタンプの販売
- 企業・団体と連携して魅力発信

まちの魅力・地域活性化等

生野区シティプロモーション

～来たい、住みたい、住み続けたいまちへ

具体的取組② 「生野の魅力」を 「世界の魅力」に

令和5年度 予算額	令和6年度 算定見込額
26,029千円	28,181千円

■ 各種広報ツールを活用しまちの魅力情報を発信

広報紙「広報いくの」、ホームページ、公式ブログ、X（旧Twitter）、YouTube、やさしい日本語 など

■ 万博とまちの魅力情報サイトの構築、運用

＊令和5年度から実施

■ 企業・団体と連携して魅力発信

まちの魅力・地域活性化等

令和6年度の取組 ポイント

- 令和6年度は万博開催1年前となることから、万博機運醸成にかかるPRの強化を図るほか、引き続き「EXPOいくのヒートアッププロジェクト」プロモーション事業を実施する
- 万博を契機に、区民のQoL（生活の質）の向上と都市力の向上をめざすため、DXを推進し、データやデジタル技術を活用したサービスの提供やシニア世代へのスマートフォン普及など、スマートシティに向けた取り組みを進める
- 公民連携の推進により、地域課題の解決に取り組むとともに、生野区の魅力等情報発信を行い、地域の活性化につなげる

まちづくり協議会

まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

現状・課題

- 地域の実情に即した最適な支援を行う必要がある
- まちづくり協議会の意義や求められる機能について理解を促進するための働きかけや情報発信を行う必要がある

まちづくり協議会

まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

具体的取組

令和5年度
予算額

52,270千円

令和6年度
算定見込額

52,270千円

- 会議の開催支援
- まちづくりセンターと連携し、各まちづくり協議会の活動を発信
- まちづくり協議会の意義や機能の説明
- まちづくり協議会の補助金について、より運用しやすくするよう制度の見直しを行う * 令和6年度